

# ご家族との関わりを大切にして

医療法人松和会 門司松ヶ江病院

## 発 足

当院では、開院当初より開放療法を行なっています。

病院の基本理念である、「治療の理念」として『精神障害という理解されがたい病気で悩んでいる人達との心のふれあいを通じて、その純粋な心、ひたむきな努力を受けとめ、自由と尊厳と生産性の回復に、全職員あげて一杯の援助をし、病院の門を社会に大きく開いて奉仕いたします。』を掲げ、チーム医療に取り組んでいます。

昭和36年の開院当時、世間では精神障害者を病気と捉える事よりも偏見的な見方が強く、精神障害者は社会から遠ざけられていました。

社会の偏見や誤解を拭い去り、「一般の病気と同じように社会に認めてもらい治療をさせたい、そして社会復帰させ人間らしく生活させたい」という家族の願いは、切実なものでした。精神障害者にとっては、家族のあり方

や考え方・接し方が、治療に大きく影響します。「病気を正しく理解し、一日も早く社会復帰させたい」と思っ家族の気持ちと「正しく理解して、治療支援者になって頂きたい」と思っ治療者側の気持ちが重なり、昭和46年10月26日に病院家族会『みのり会』が発足しました。

## 目 的

- 一、精神障害者を正しく理解しましょう。
  - 二、社会の偏見を是正し、地域社会ぐるみの治療体制確立の為の原動力になりましょう。
  - 三、治療にできる限り協力して、良き治療パートナーになりましょう。
- この3項目を目標に掲げ、発足から欠かす事なく、33年間継続運営しています。
- 昭和48年、北九州精神障害者家族会の結成には、大いに貢献しその礎となりました。

## 運 営

現在は、精神部門と老人部門とに大きく区分し、家族会を運営しています。

毎月 第3土曜日

精神部門家族会

午前10時から12時

老人部門家族会

午後13時半から15時

年間計画に基づく研修会では、病気や服薬に関することや、対話の方法など、具体的な内容を専門医療者が講師になり、学習しています。

また、ディスカッションの場では医師や臨床心理士、看護師、作業療法士、精神保健福祉士が参加し、ご家族の心配事や悩み・不安などに対して適切なアドバイスができるようにしています。病棟やデイケアでの様子をお話する事で、職員がどのような点に気を配りながら接しているかも参考にし



いただければと思っています。また、急性期治療病棟に入院している患者様のご家族も、療養棟で長期に入院をされている患者様のご家族も、同じようなつらい経験をされてきています。ご家族同志の情報交換は、皆さんの中でご自分の経験を話したり、他の人の話を聞いたりする事により共感し、他のご家族から適切なアドバイスを受ける事によって、これまで知らなかった事や、気づかなかった考え方を知る機会にもなります。「自分だけがつらいのでは無かった」「話して良かった」「参加して良かった」と思っていただけけるような空間が作れるように、援助をしています。

## 病院行事への参加

病院の伝統行事（お花見、開院祭、盆踊り、運動会、クリスマスバイキング等）に積極的にご家族の皆様にも参加していただき、患者様と楽しみや喜びを共有する事で、対応の仕方や接し方などを、実践の中で学んでいただいています。

平成15年  
開院祭 参加ご家族 116名  
運動会 参加ご家族 121名

## みのり会報

家族会の発足当初から、家族会独自で『みのり会報』を発行しています。

平成16年3月には302号を発刊いたしました。2カ月毎に作成しており、研修会の報告や、行事参加後の感想、提案、手記など、患者様やご家族からの投稿を中心にして、編集、掲載させていただいています。また、保健福祉法の動向等をわかり易くして掲載したり、行事予定など次回会報までの連絡事項も記載しています。家族会に参加できないご家族に郵送しています。



家族会は、ご家族の皆さんが、病気を正しく理解し、治療方針や内容を知る事で、治療的役割を担っていただく場です。そつする事が、患者様の退院後の生活や環境について考え、社会復帰を進める原動力になります。そして、一人で考え、一人で抱え込まず、皆で考え、地域社会で

精神障害者が安心して生活できるように推し進める場でもあります。家族会に関わる職員は、その事を常に念頭において取り組んでいきたいと思っています。

## 病院のロマン

『全ての精神障害とその家族が治療の必要性を理解し、個々の能力を最大に発揮できる場所で、笑顔で生活できるようにしたい』その理想を追求する姿勢は、病院が中間施設を支え、病院と中間施設が社会を支えている構図を示したロゴマークに現れています。病院と中間施設の特徴として、第一に精神障害者のノーマライゼーションの実現に向け、チームで対応しています。

